



碧南ロータリークラブ週報

第2997回例会 令和3年11月17日(水)

- 会長 新美 雅浩
- 幹事 栗津 康之
- 会場監督(SAA) 岡本 耕也

2021-2022 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

- 会報委員 石川鋼勇・鈴木 洋・藤関孝典・小林 尚

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

地区防災対策委員会 委員 成田孝則様 (安城RC)

会 長 挨拶

コロナも随分減ってまいりました。本日は会長が欠席されまして、私は隣に座っているだけだと思っていましたけれども、会長に代わりまして、ご挨拶させていただきます。また、私は会長のようにロータリーのことをしっかりと勉強している訳でもないのですが、がさつな話しかできませんけれども、ご容赦いただければと思います。



森田雅也副会長

本日のお客様は、地区防災対策委員であります成田様による「南海トラフ巨大地震に備える」といったお話と伺っております。非常に楽しみにさせていただいておりますが、地震対策というどうしても日曜劇場の「日本沈没」の話を思い出してしまいます。その為に見た訳じゃないんですが、先週、Amazon Prime Video で、最初の日本沈没の映画を見ました。48年前の映画になります。当時は子供だったのもあって、怖い思いしかなかったんですけども、見ていくと防災対策のシミュレーションみたいな面も持っておりました。また、政府の色々な対策への動きも出てきます。総理大臣役が丹波哲郎さんで、他にも小林桂樹さん、藤岡弘さん、いしだあゆみさんなどが出ており、何十年ぶりに見て非常に面白かったなあと思いました。阪神淡路大震災や東日本大震災の前の映画なので、よくできているなあと思いました。確か円谷プロの協力を受けていると書いてあったので、ちゃちな怪獣映画に似ているところもありますけれども、テレビで見た阪神淡路大震災や東日本大震災の光景を 50 年前に実現していたのかなあと感心しました。それに基づいて最近の日本沈没は、仲村トオルさん、香

川照之さん、小栗旬さん、松山ケンイチさんなどが出ております。今回のドラマでは、自衛隊の援助や災害が終わった後の援助状態が出てきます。私は10年ぐらい前に東日本大震災のボランティアに1週間ぐらい行かせてもらったんですが、その時のことを思い出しました。来週からは日本沈没編ですので、皆さん、良かったら見ていただきたいと思いますし、古い映画はAmazon Prime Videoで、是非見ていただけたらなあと思います。

それで、南海トラフ地震のことを少しだけ調べてきました。南海トラフ地震は2035年を軸に前後5年の誤差で確実に発生すると言われております。予想被害総額が220兆円、国の年間税収の3.5倍、予想死者数は32万人で、東日本大震災の16倍と言われております。正に日本沈没だなあという状態の中で、我々はこちらに対応していかなきゃいかんのかなあということを考えながら、お話を聞きたいと思っています。もう1つ、黒田泰弘さんが地区防災対策委員会に出向されます。本当にお疲れ様です。また、今後ともよろしくお願ひします。そういうこともありまして、良い機会にお話を聞けるなあと思います。

余計な話なんですけれども、私は税理士ですので、税務の話をしたと思います。災害備蓄品というのは、当たり前かもしれませんが、経費で落ちますので、どんどん買っていたきたいと思います。棚卸資産ではありませんので。ですから、ちゃんと災害備蓄品だということを書いておかなければいけないかなと思います。それから、災害ではないんですけれども、ついでに3つ話をしたいと思います。最近盛んに言われているインボイス制度ですけれども、経営に結構影響しますので、色々なセミナーなどを聞いていただいて、きちんと押さえておいてください。それから、来年の1月1日から電子帳簿保存法が変わります。それも電子取引は電子保存が義務化されます。詳しくはホームページなどに情報が出ておりますので、見ていただければと思います。それから、あと1か月ちょっとしかありませんので、ふるさと納税を忘れないようにやっていただいて、地域に貢献していただくことも必要なのかなと思います。

つまらない話ばかりで時間になってしまいました。会長のような高尚な話はありませんでしたけれども、副会長としての挨拶に代えさせていただきます。

本日も1日よろしくお願ひします。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- 第5回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- IMの登録、バス、昼食の案内をこの間させていただきました。できましたら、本日までにお返事をよろしくお願ひ致します。
- 11月24日(水)は定款第7条第1節(d)(1)による休会になります。
- 12月1日(水)は年次総会になりまして、前年度決算報告・本年度中間報告と次年度理事役員選挙という大事な総会になりますので、より多くの皆様のご出席をお願ひ致します。



栗津康之幹事

また、例会終了後に第6回の理事会を開催させていただきますので、ご関係者の皆様はご都合の程、よろしくお願い致します。

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 65 名 (内出席免除者 15 名の内出席者 10 名) 出席者 50 名	
出席対象者 50/60 名	出席率 83.33%
欠席者 15 名 (病欠者 2 名)	

<ニコボックス>

地区防災対策委員会 成田孝則様 本日、卓話をさせていただきます。宜しくお願い致します。

森田 雅也君 本日は会長代行をさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

木村 徳雄君 いよいよ来週、碧南クラブ主催伊藤正幸ガバナー補佐杯ゴルフコンペ開催します。碧南メンバーの力を借りて成功したいので、宜しくお願い致します。

竹中 誠君 久しぶりの飛行機での北海道、楽しかったです。新美真司君、徳さんありがとうございます。

岡島 晋一君 本日の卓話講師の紹介をさせていただきます。

牧野 勝俊君 アイシンティルマーレの卓上カレンダーを配布させていただきます。ぜひ、ご活用して頂き、ティルマーレの応援もよろしくお願い致します。

卓話

「南海トラフ巨大地震に備える」

地区防災対策委員会 委員 成田孝則様 (安城RC)



成田孝則様

先程、森田副会長から巨大地震の話随分説明していただいて、これから私はその補足みたいな形になってしまいますけれども、地区防災対策委員会の卓話をさせていただければと思います。私、本日卓話を担当させていただきます地区防災対策委員会の成田孝則と申します。安城 RC 所属でございます。どうぞよろしくお願い致します。本日の卓話のタイトルは、「南海トラフ巨大地震に備える」としました。PowerPoint で順次ご説明させていただきますので、よろしくお願い致します。

まず、防災対策委員会のこれまでの経緯なんですけれども、地区での防災対策委員会というのは、まだ新しい委員会でございます。2017-2018 年の神野ガバナー一年度に愛知県防災部と RI 第 2760 地区が相互協力に関する協定を締結しました。2020 年 4 月に愛知県防災部に訪問しまして、相互協力の確認をしました。2020-2021 年度に地区に防災対策委員会を新設

しました。(準備年度として活動をしました。)そして、2021-2022年度は、委員の構成を8分区に拡大し、具体的な取り組みを実施しております。

2020-2021年度の委員会メンバーは12名おまして、委員長が加藤定伸さん、副委員長が南村朋幸さん、あとは委員がおまして、各分区の担当は昨年度分区幹事をやられた方々になっております。

こちらが愛知県防災部とRI第2760地区の相互協力に関する協定書なんですけれども、地域防災力向上の相互協力に関する協定ということで、愛知県とRI第2760地区が相互に密接な連携と協働をすることにより、大規模災害に備える地域防災力の向上を推進し、愛知県内の防災への取り組みを活性化することを目的としております。その中の連携事項でございます。

1. 愛知県が実施する地域防災イベント等への参画や協力に関すること。
2. 愛知県民への防災意識の啓発及び防災知識の普及に関すること。
3. 災害時におけるRIのネットワークを活用した支援及び情報共有に関すること。

以上の事項を効果的に推進する為に定期的に協議を行うこととしております。

初めに動画を流します。東日本大震災(海溝型巨大地震)の時のような巨大地震を想定した映像です。テレビやSNSを通じて目にした方が多いと思いますが、10分程度見ていただきます。ここでは、発災時の様子と同時に巨大地震が起こるメカニズムにご注目ください。地震のメカニズムと臨時情報の発表の映像でした。

地震発生から避難までのシミュレーションをしてみたいと思います。

1. 緊急震度速報

愛知県西部で強い地震を観測しました。震度6強を観測しています。気象庁から発表される最初の情報です。観測された最大震度のみ発表します。津波の有無についての情報はまだですが、先程の地震の揺れ方から津波の襲来が判断されますので、避難勧告が出たら市の指定する避難場所へ避難すべき時です。(揺れが収まってから)

2. 大津波警報

東日本大震災クラスの津波が襲来します。ただちに避難してください。気象庁らは、地震発生から3分以内を目途に津波警報を発表します。マグニチュード8以上の巨大地震の場合は、このような表現で迅速な避難を呼びかけます。

3. 大津波の情報

大津波警報が発表されました。津波到達予想時刻は〇〇時〇〇分頃、予想される津波の高さは「巨大」です。気象庁の情報はここまでです。津波情報で発表される津波の到達予想時刻はおよその目安です。この時刻よりも早く津波が到達することもあります。

<地震から身を守る>

地震による大きな揺れを感じた時(揺れを感じる前でも)緊急地震速報を見聞きした時は、慌てずにまず身の安全を確保する行動を取る。津波から避難する場合もまず地震から身を守ることが先です。

「身の安全を確保する行動」とは

【家庭では】

1. 頭を保護し、丈夫な机の下などの安全な場所に避難する。
2. 消火を優先しますが、無理はしないでください。
3. 慌てて外に飛び出さない。

【屋外では】

1. ブロック塀などの倒壊に注意する。
2. 看板や割れたガラスに注意する。

＜津波から身を守る＞

津波の性質を正しく知って、避難の仕方を知ることが大切です。基本中の基本は、「すぐ避難する」、「より高い所へ避難する」です。津波は物凄いスピードと破壊力でやってきて、どんどん陸地を駆け上がります。だから、すぐに避難。避難して、「ここなら安心」と思わず、更に高い場所を目指しましょう。但し、地震の揺れが大きい時は危ないので、揺れが収まってから冷静に行動しましょう。

＜避難開始のタイミング＞

地震の揺れが収まって、周囲の安全を確保した後、津波の襲来を直感して、直ちにより高い場所を目指して避難をするというのが望ましい行動です。津波警報を待つ必要はありません。震源が陸地に近いという警報を聞いてからでは、津波の襲来に間に合わないこともあります。緊急地震速報や地震発生時に大きく揺れている時に動き出すのは却って危険です。まずは、転倒や周囲の危険物から身の安全を確保する行動が必要です。

＜委員会の目指すところ＞

危機意識の共有の為に

1. 過去を知り現在を知る。

【過去を知る】

1952年にカムチャッカ地震。マグニチュードは9.0。

1957年にアリューシャン地震。マグニチュードは9.1。

1960年にチリ地震。マグニチュードは9.5。

1964年にアラスカ地震。マグニチュードは9.2。

2004年にスマトラ島沖地震。マグニチュードは9.0。

2011年に東北地方太平洋沖地震。マグニチュードは9.0。

【現在を知る】

- ・日本海溝、千島海溝周辺の海溝型地震

根室半島沖の地震は、マグニチュード7.9程度。30年以内の地震発生確率は、30～40%です。

- ・首都直下型地震

我が国の中枢機能の被害が懸念されます。南関東地域において、マグニチュード7クラスの地震の30年以内の発生確率は、70%程度です。

- ・南海トラフ地震

西日本全域に及ぶ超広域震災。マグニチュード8～9クラスの地震の30年以内の発生確率は、70～80%です。

2. この先「起こること」を知る。

3. その時「どうするか」を知る。

- ・地震に備える＝まず命を守る（建物の倒壊リスクの診断・家具や備品の固定・非常用持ち出し品の準備）
- ・津波に備える＝避難場所・避難経路・代替避難場所の確認
- ・最初に行動する・声を上げる・避難する・誘導する人になれること
- ・火災に備える（火元の処理・電源の遮断）

最も大切なことは、「正常性バイアス」から抜け出すことです。

<具体的な提案>

- ・既に準備されている防災用品の再確認（設置場所・数量・食品等の有効期限）
- ・ハザードマップの入手と避難経路の確認（各自治体が発行しています。是非手に入れて経路を歩いてみてください。）
- ・地震防災ハンドブック（持ち歩き用・常時携帯して活用してください。）
- ・171 伝言ダイヤル（スマホ・携帯が繋がらない時、日頃から家族と共有しておきましょう。）

<ロータリークラブ会員として>

- ・発災時の会員間の安否確認（方法・連絡経路）と愛知県防災部との連携と情報の共有
- ・被災した会員企業の早期再開への備え
- ・皆さんなかなか自分のこととして考えられません。しかし、必ず大規模地震は起きます。正しく恐れましょう！

以上で卓話を終了させていただきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和3年12月8日（水）

卓話「私とラグビーと友人」 西酒造(株) 相談役 工藤隆司氏